科目名		哲学	<b>≱•</b> 倫耳	<b>単学</b>	<u> </u>											
科目コード	6004				—— —	英文表記 			Philosophy and Ethics				平成28年3月20日			
教員名:青木 技術職員名:														竹	成	
7	対象学	4科/	専攻⊐	ース		学年		必·選 履		·学修 単位		边数	授業形態 授業期		<b>期間</b>	
		専2	選		学	学修 2 単		i位	講	講義		<b>炎期</b>				
科目目標	西洋における世界観の変遷、東洋思想と西洋思想の違いなどについて説明できるようになる。 哲学や倫理学の諸問題、哲学の根本問題などについて考えられるようになる。 哲学者の思想や諸宗教の思想に触れ、人間とはどのような存在であると考えられてきたかについて理解するととも 自分が人としていかに生きるべきかなど、自分の生き方や自分の人生について考えることができるようになる。										ともに、					
総合評価	学年評価は以下の通りである。 討論(授業中の意見発表、グループディスカッション)への参加、25%,レポート60%、自分史発表15%															
	科目達成度目標(対 、										ルー	ブリック				
科目程度 JABEE目応 を を を を を を を を を を の 対 を に の を の を の を の の の の の の の の の の の の	村日達成及日標(対   応するJABEE教育目  標)				達成度目標の評 価方法		理想的な到達レベル		標準的な到達レベル		最低限必要な到達レ ベル		到達レ	セルフ チェック		
	1	観想い洋に明される。	に 変 写 注 思 思 記 記 記 記 記 記 に は の 理 と に こ る に る る に る る に る る る に る る る る る る る る る る る る る	更想の 関連を 関連を 関連を 関連を 関連を 関本 関本 関本 関本 関本 関本 関本 関本 関本 関本 関本 関本 関本	課題によっ 価する	観の変遷、東洋忠 想と西洋思想の連 い、東洋思想と西 洋思想の融合など について理解し、自 分の考え理的にな がら、論理的になる がある、論理ができる			西洋における世界 観の変遷、思想と東洋思想と東洋思想と東洋思想となが、東想の西洋思想ので理解し、これがに説明すらこなができるより、機A-1,情A-1,メC-1,生-2)			西洋における世界 観の変遷、東洋思 想と西洋思想の 注思想会な について理解し、説 明することができる ようになる。(機A-1, 情A-1,メC-1,生-2)				
	2	哲学や倫理学の諸 問題について考え ることができるよう になる。(機A-1, 情 A-1,メC-1,生-2)			課題や討論参加によっ	哲学や倫理学の諸 問題につい考え、 自説を論理ようにある。また他者の る。また他者の意見にさまってこる 意見にさよってことができるようにさよって (機A-1、1情A-1、メ C-1、生-2)			哲学や倫理学の諸問題について考え、自説を述べることができるなる。また他者の意意見によって自己を発展させることがで機A-1、ばA-1、以C-1、生-2)			哲学や倫理学の諸問題について考え、自説を述べることができるようになる。 また他者の意見を尊重することができ				
	3	生の! 考える ように	の生き7 意味になる。(う なる。(う 1,メC−1	ついて できる 機A-1,	発表や討論への参 加によって評価す る。		生の意味について		目分の生さ万や人 生の意味について 理解することができ るようになる。また 他者の生き方ること ができるようにな る。(機A-1, 情A-1, メC-1 牛-2)		生の意味について 考えることができ ようになる。また代 者の生き方や価値 観を尊重すること できるようになる。		いき た を た 他 し こ る し よ る 、 メ			
	, ,						1 N/1 K -		2,95							
本科·専攻科教 育目標	1	2	3	4	JABEE	プログ	うム名称			/ // // //		信シス 工学	x メディア情報 工学		生物資源 工学	
					JABEEプ	ログラ	ム教育目	標	例:	A-3	例:	A-2	例:A	<b>\</b> −1,	例	:A-3
			評	価方	法と評価項	目およ	び関連	車目標	に対			<u>}</u>				
				の関連	定期試験	試験 小テ		スト レポ-		その他(演 発表・実技		総合評価		セルフチェッ		ェック
評価項目					0	0		6	60		40		100			
基礎的理解										25		85				
応用力(実践・専門・融合)										1	15		15			
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)						-				<u> </u>			0			
主体的・継続的	的学修	意欲										(	0			

授業計画												
		alla.		_		I man allo at a the	自学自習	セルフ				
週	授	業	項	目	時間	授 業 内 容	(予習·復 習)内容	チェック				
1							B/F3-E	7				
2												
3												
4		. <b> </b>										
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
期末	イントロ	i li hi		托巴	_	拉类办准从十个部四 // 数办甘林[四 0]	-m m = -14 := 7					
16 17				舀子、		授業の進め方の説明、仏教の基礎【Ⅲ-C】 西洋哲学史(古代)【Ⅲ-C】	課題、討論に備える 課題、討論に備える					
17		51 子、1 折学。/	倫理学 倫理学		2	西洋哲学史(中世)【Ⅲ-6】	課題、討論に備える					
19		ョナ゛ 肝学•ℓ	倫理学 倫理学			西洋の宗教史、西洋哲学史(近代の芽生え)【Ⅲ-C】	課題、討論に備える					
20	F	ョナリ 哲	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一		2	哲学の根本問題(心とからだの関係)【Ⅲ-C】【Ⅷ-B】【Ⅷ-E】	課題、討論に備える					
21		哲 哲	· 学		2	哲学の根本問題(意識と実在など)【Ⅲ-C】【Ⅷ-B】【Ⅷ-E】	課題、討論に備える					
22		哲	· 学			哲学の根本問題(私的体験など)【Ⅲ-C】【Ⅷ-B】【Ⅷ-E】	課題、討論に備える					
23	·····	 哲学•f	倫理学			哲学の根本問題(自由と規範、言葉と経験など)【WI-B】【WI-E】	課題、討論に備える					
24	1	哲学∙亻	倫理学			西洋哲学史(近代)【Ⅲ-C】	課題、討論に備える					
25	†	哲学∙亻	倫理学			西洋哲学史(近代)、【Ⅲ-C】	課題、討論に備える					
26		心理	里学		2	意識と無意識、心理学の4つの勢力【Ⅲ-C】	課題、討論に備える					
27	ŧ	哲学∙イ	倫理学		2	生きる意味の考察【Ⅲ−C】	課題、討論に備える、発表準備					
28	†	哲学∙作	倫理学		2	西洋哲学史(現代)【Ⅲ-C】	課題、討論に備える					
29		哲	学		2	西洋哲学史(現代)、西洋の無と東洋の無【Ⅲ-C】	課題、討論に備える、					
30	ı		₫•哲学		2	自分史発表【Ⅲ−C】	発表準備					
期末		期末		間合計	[2] <b>30</b>	実時間						
	22.5											
1	標準的所用時間(試行											
<u>1</u>	各2時間×10回											
(2)	各2時間×	15回										
3	発表準備	莆										
							10時間	目				
								. •				
備考欄												

## (共通記述)

・この科目はJABEE対応科目である。 その他必要事項は各コースで決める。

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)